

第122期 報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

Challenge, Speed, Innovation

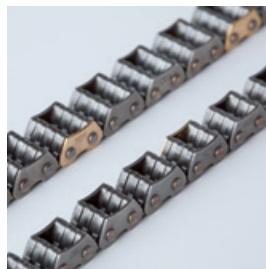


四輪車用

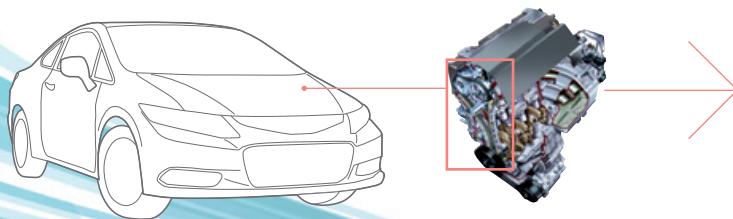
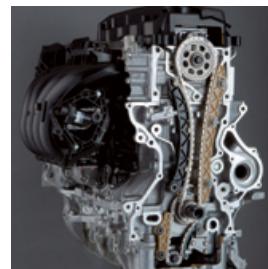
当社独自の特殊表面処理技術で、優れた耐摩耗性・疲れ強さ・高い静音性を実現した四輪車エンジン内チェーン。

[主な納入先] HONDA、TOYOTA、DAIHATSU、MAZDA、SUBARU、SUZUKI、HYUNDAI、第一汽車

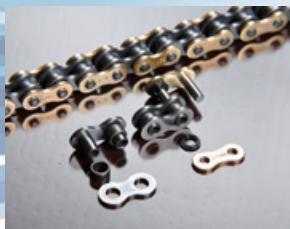
■ タイミングチェーン



■ チェーンシステム



■ ドライブチェーン



■ カムチェーン



■ 鉄リム



■ アルミリム



D.I.D

モノづくりへの情熱で世界

二輪車用

[D.I.D] ブランドの高い信頼性と実績により、世界No.1の評価をいただく二輪車用チェーンは、多くの完成車メーカーに純正品として採用いただいております。

[主な納入先] HONDA、YAMAHA、SUZUKI、KAWASAKI、BMW、DUCATI、HARLEY-DAVIDSON

高度化・多様化するニーズに、コンサルティング能力と開発力、固有技術で、お客様の環境に合わせたソリューションを提供しています。

動力伝動・搬送用チェーン



[主な仕様用途]

- ・立体駐車場
- ・フォークリフト
- ・建設機械・農業機械
- ・食品加工機械
- ・印刷機械・包装機械

産業機械用チェーン (静音チェーン)



コンベヤシステム

粉粒体・環境関連設備向け エプロンバケットコンベヤ



製鉄関連設備向け コイルコンベヤ



事業領域

に感動をお届けするヒューマンテクノロジー

私たちは創業以来、「伝える」「運ぶ」をテーマに、世界のニーズを満たす技術の徹底追求を行い、高性能、高品質な製品をお届けしてきました。

その根底には、人にふれあう技術、人とともに伸びる技術という思想が貫かれています。

ものづくりは人づくり、そして情熱。私たち大同工業グループは、絶えず人と技術を原点に置き、ひたむきに「D.I.D」ブランドへの期待と信頼にお応えしています。

いす式階段昇降機 (楽ちん号)



車いす用階段昇降機 (JDエスカル)



福祉機器

豊かで快適な福祉社会を実現するため、使う人の立場に立ったユニバーサルデザインに基づく福祉機器の開発を通じて、バリアフリー社会に貢献しています。



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。

第122期事業年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。

平成27年6月

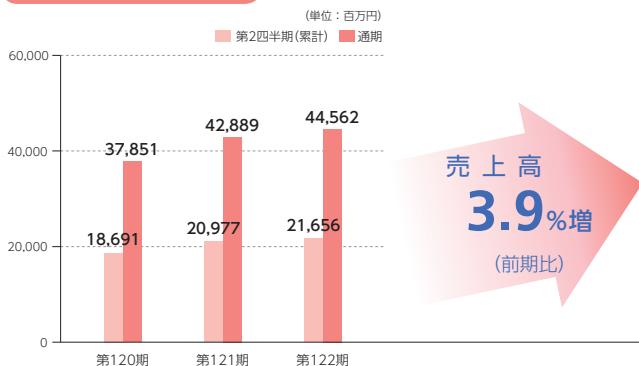
代表取締役社長 新家 康三

事業の経過及び成果

当期における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国経済の回復基調が続いたものの、新興国における経済成長の鈍化や通貨安など、先行き不透明な状況が続きました。国内においては、消費税増税の影響により個人消費が伸び悩んだものの、政府・日銀の経済・金融政策や円安、原油安を追い風に景気は緩やかに回復しました。

このような情勢のもと、当社グループにおきましては、欧州やアセアンにおける補修市場向け二輪車用チェーンを中心に受注が順調に推移いたしました。また、インドにおいて二輪車用チェーンの一貫生産、米国において四輪車用チェーンの組立生産の本格稼働を進めるなど、更なるグローバル展開の推進に努めてまいりました。

売上高



営業利益



その結果、当期の連結売上高は445億62百万円（前期比3.9%増）、連結営業利益は21億25百万円（前期比12.7%減）、連結経常利益は25億77百万円（前期比12.8%減）、連結当期純利益は9億61百万円（前期比40.5%減）となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、米国を中心とした先進国経済の回復基調に支えられ、緩やかな成長が見込まれますが、中国をはじめとする新興国や欧州における景気の下振れリスクが意識されるなど、引き続き予断を許さない状況

が続くと予想されます。

このような状況のもと、当社グループでは『たゆまぬ挑戦で未来を切り拓く』をスローガンとする第10次中期経営計画（2015～2017年）を策定し、本年よりスタートしております。ものづくり企業としての原点に立ち返り、事業領域・技術領域の拡大を図るとともに、アジア二輪市場や北米四輪市場など成長市場・成長分野の取り込みを行ってまいります。また、多様な人財の活用と次世代を担う人財を育成することにより、常に発展し続ける企業体質づくりを進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

第123期(平成28年3月期)連結業績予想

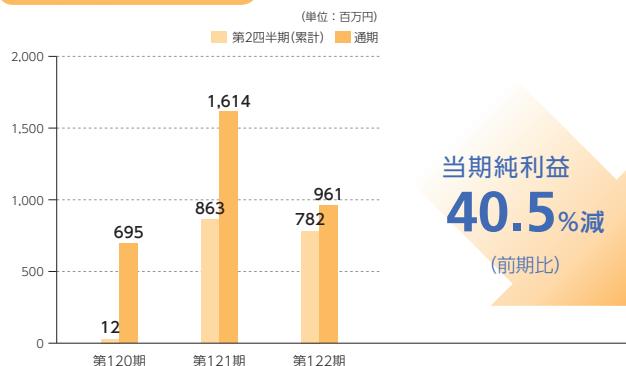
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期（累計）	22,700	1,100	1,000	400
通期	46,700	2,400	2,300	1,100

経常利益



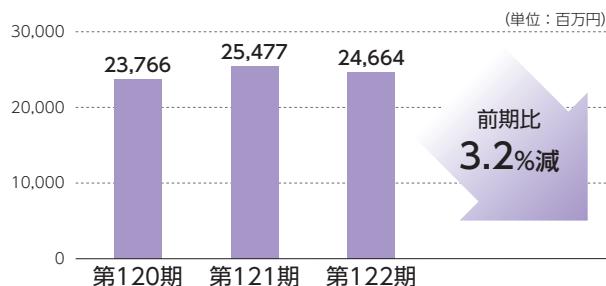
当期純利益



所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

● 日本

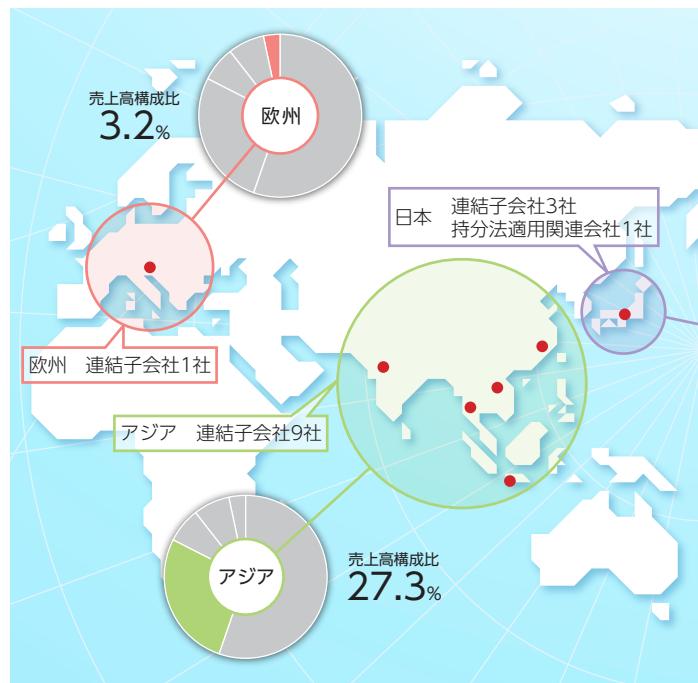
為替の円安効果もあり、二輪車用チェーンの補修市場向けの受注が好調に推移するとともに、産業用チェーンの受注も堅調に推移したものの、四輪車用チェーンにおいて完成車メーカーの海外生産移管の影響等により受注が低調であるとともに、コンベヤ関連においても製鉄・セメントメーカー等の設備投資が依然低調であり、大型案件の受注が少なかった結果、売上高は前期比3.2%減少の246億64百万円となりました。



● ご参考 ●

仕向地別セグメント
(顧客の属する国または地域を基準としたもの)

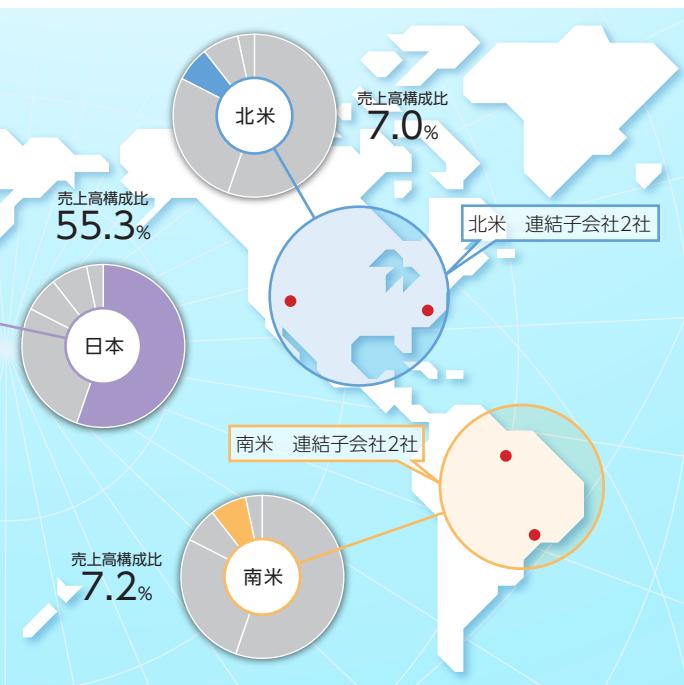
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前期比
日 本	21,750	48.8	4.7%減
ア ジ ア	13,640	30.6	12.5%増
北 米	3,070	6.9	24.5%増
南 米	3,495	7.8	3.2%増
欧 州	2,278	5.1	30.7%増
そ の 他	327	0.8	5.1%減



● 欧州

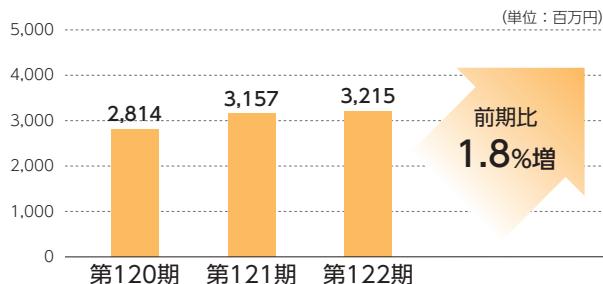
二輪車用チェーンの完成車メーカー向けにおいて、欧州系メーカーの生産回復により、また、補修市場向けは西欧、北欧における販売活動強化により受注が好調に推移した結果、売上高は前期比25.0%増加の14億6百万円となりました。





● 南 米

二輪車用チェーンの補修市場向けの受注が順調であった結果、売上高は前期比1.8%増加の32億15百万円となりました。



● 北 米

産業用チェーンにおいて、景気回復に伴い受注が堅調に推移したことに加え、四輪車用チェーンにおいては、組立生産の本格稼働に伴う完成車メーカーへの量産納入開始により、売上高は前期比25.8%増加の31億3百万円となりました。



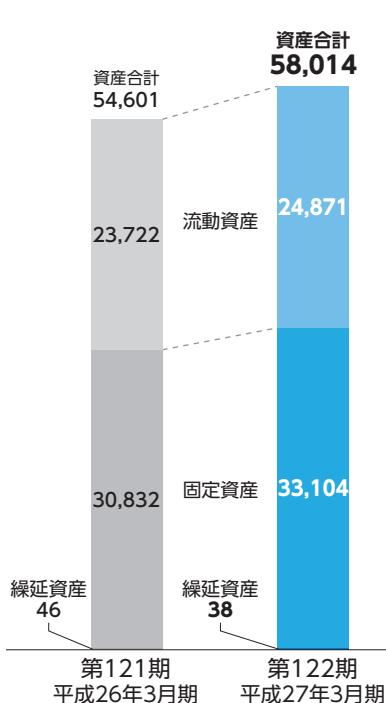
● アジア

二輪車用チェーンにおいて、一貫生産を開始したインドにて着実に受注が増加するとともに、四輪車用チェーンにおいてはインドネシアを中心に、コンベヤ関連においてはタイを中心に受注が好調であった結果、売上高は前期比14.2%増加の121億72百万円となりました。



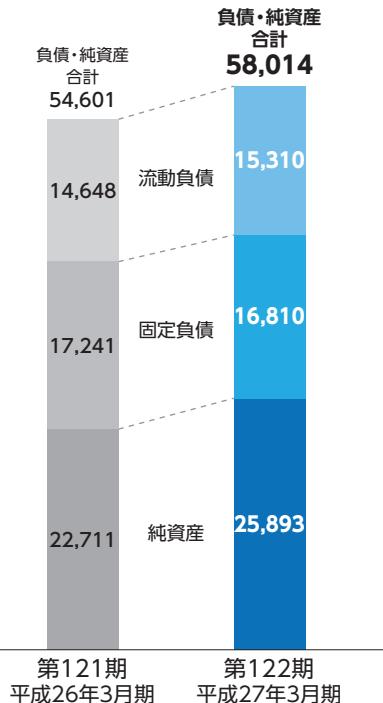
資産の部

単位：百万円



負債及び純資産の部

単位：百万円

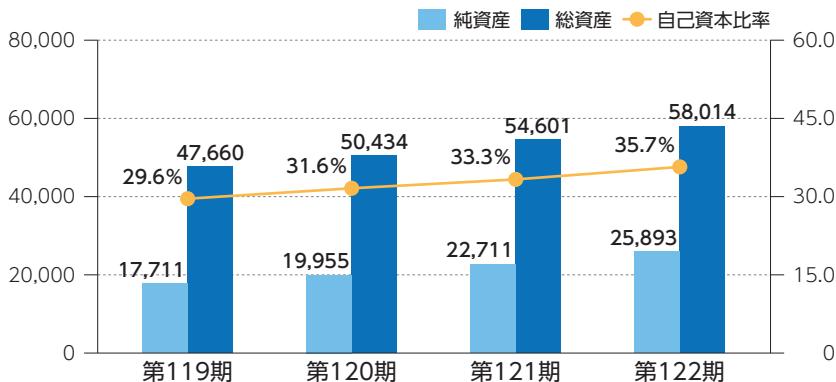


ポイント解説

総資産は、建設仮勘定が減少したものの、たな卸資産、繰延税金資産、機械装置及び運搬具、投資有価証券が増加したことなどにより、前期末と比べ34億13百万円増加しました。負債は、繰延税金負債が増加したことなどにより、前期末と比べ2億31百万円増加しました。純資産は、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末と比べ31億82百万円増加しました。

純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

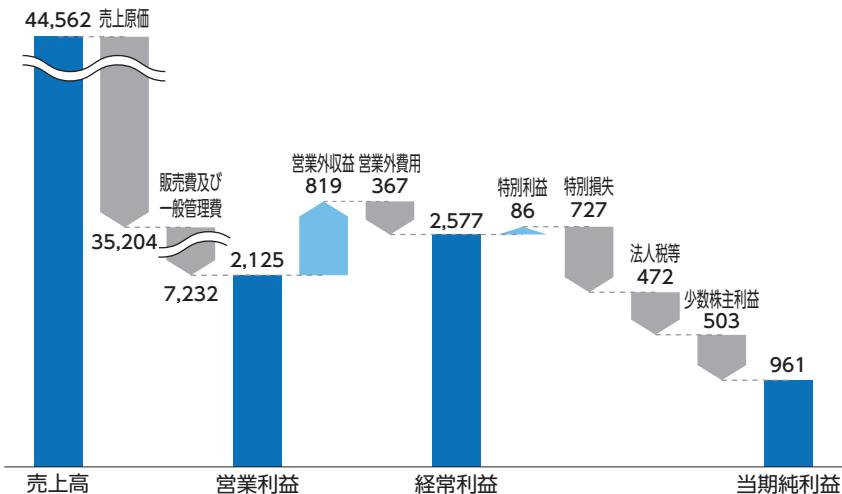


ポイント解説

自己資本比率は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末と比べ2.4ポイント増加の35.7%となりました。

● 損益の状況 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

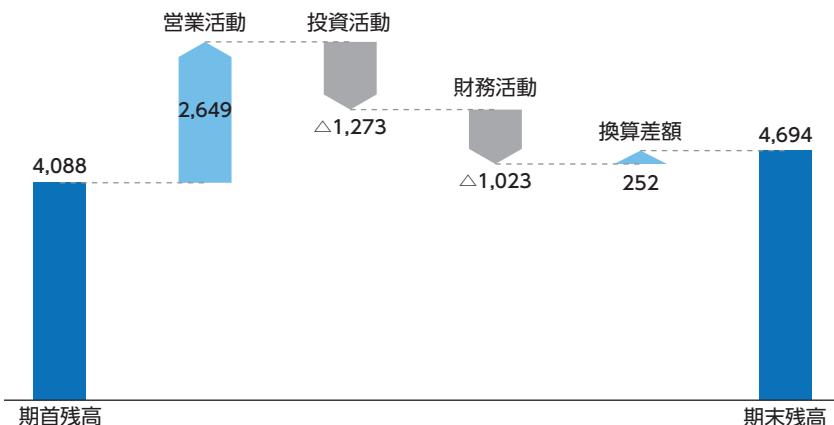
売上面では、欧州やアセアンにおける補修市場向け二輪車用チェーンの受注が好調に推移したことなどから前期を上回ったものの、利益面ではインド子会社における一貫生産工場や、米国子会社の組立生産工場の立上げに伴う初期投資費用がかさんだことなどから前期を下回りました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第122期 平成27年3月期	44,562	2,125	2,577	961
第121期 平成26年3月期	42,889	2,436	2,954	1,614

● キャッシュ・フローの状況 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が増加したものの、税金等調整前当期純利益及び減価償却費を計上した結果、26億49百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得などにより12億73百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入の返済による支出などにより10億23百万円の使用となった結果、当期の期末残高は前期と比べ6億5百万円増加しました。

■ タイ子会社の設立10周年

当社のタイ子会社D.I.D ASIA CO., LTD. (以下DA) は本年5月に会社設立10周年を迎えました。

DAは当社グループにおいて、東南アジア地域の二輪車用チェーン販売の中核を担っております。

東南アジアでは、日常の移動手段は二輪車が主流であるため、二輪車の補修チェーン市場は二輪車の年間新車販売台数の数倍の規模と言われる程の巨大マーケットとなっております。

DAでは、設立以前よりDIDブランドのチェーンが世界トップブランドとして支持されていたことに加え、東南アジアの経済成長を背景として設立後も順調にシェアを伸ばしてまいりました。

今日に至るまでには安価な中国製チェーンや模倣品が市場を席卷するなど、様々な困難がありました。東南アジアのユーザーの絶大な支持のおかげをもちまして、無事10周年を迎えられたものと感じております。

今後も、高品質な製品を東南アジアのみならず世界中のユーザーへの感謝の気持ちと共にお届けすべく、これからの10年が更に実りあるものとなるよう、一層の発展を目指してまいります。



▲10周年セレモニーの様子

D.I.D ASIA CO., LTD. の概要

会社設立時期：2005年4月

資本金：10百万バーツ

所在地：タイ国 ラヨン県

従業員数：43名 (2014年12月時点)

ホームページURL：<http://www.didasia.co.th/>



■ 新規事業基盤開発への挑戦

近年の気象現象の変化から実感が高まりつつある地球温暖化問題が背景となって、「持続可能な低炭素化社会の形成」に向け、各種の産業分野で幅広い研究開発が盛んになっています。例えば、自動車産業を眺めると、厳しいCO₂排出基準に対応するために、多方面からの新技術成果により規制達成していくことが経営上の優先課題になっており、あらゆる技術テーマで「軽量化」が共通のキーワードになっています。

当社では、市場ニーズへの新たな提案力に向け、近年航空機産業を中心に注目が高まっている新素材、CFRP（炭素繊維複合材料）を自動車をはじめとする、幅広い産業分野への採用拡大に貢献していくことを目指し、当社鉄リム事業で培ってきたロールフォーミング技術ノウハウを活かして、国内初となる熱可塑性CFRP材料の革新的技術開発に着手しました。

実務面では、「熱可塑性CFRP材料の一大生産拠点の形成」をビジョンとして次世代産業の重点政策課題に位置付けている石川県からの助成を受け、当該研究分野では世界的に先行している金沢工業大学等との共同研究も活用して推進しております。

既に、先行開発した技術による試作成形品を国内展示会に参考出品するだけでなく、海外に向けても情報発信し、幅広い問合せが届き始めており、市場ニーズやブレークスルーポイントとなる技術課題等が具体化しつつあります。

この研究開発では、当社保有技術の可能性を新しい製品分野に応用し、事業領域の拡大を図ることが目的で、将来的には経営基盤を更に強化する事業創出となることを期待しており、引き続き、コスト競争力を含む量産化技術の開発を推進してまいります。



▲展示会の様子

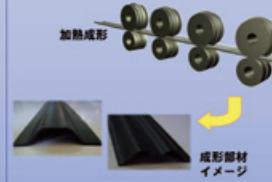
熱可塑性CFRPのロールフォーミング

Roll Forming for Carbon Fiber Reinforced Thermo Plastics
生産性に優れたRF成形技術を熱可塑性CFRPに応用 New

背景 Background

CFRPが汎用量産部材として適用されていくためには、生産性に優れた革新的製造技術が不可欠であり、熱可塑性CFRPに適した長尺部材への連続成形技術の開発を目指す。(国内初)

特長 Advantages

	先行技術	開発技術
工法	プレス工法	ロールフォーミング工法
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ バッチ方式 ▶ 3次元形状が得意 ▶ 長尺部材には不適 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 連続方式 ▶ 一定断面長尺部材の成形 ▶ 高い生産性
工程と部材のイメージ	 加熱プレス 成形部材イメージ	 加熱成形 成形部材イメージ

適用 Applications


汎用部材への成形

↓


高剛性部材への展開

会社の概況 (平成27年3月31日現在)

商号：大同工業株式会社

設立年月日：昭和8年5月25日

資本金：27億2,637万円

従業員：708名(個別) 2,459名(連結)

(注) 上記従業員数には、定年後再雇用社員を含み、派遣社員を含んでおりません。

事業所 (平成27年3月31日現在)

本社・本社工場：石川県加賀市熊坂町イ197番地

福田工場：石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20

動橋工場：石川県加賀市動橋町中22-1

東京支社：東京都中央区日本橋人形町3-5-4 (MS-2ビル)

大阪営業所：大阪市中央区南船場2-12-12 (新家ビル)

名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南4-9-7

浜松営業所：浜松市北区三方原町1130-2

熊本営業所：熊本県菊池市旭志川辺1074-1

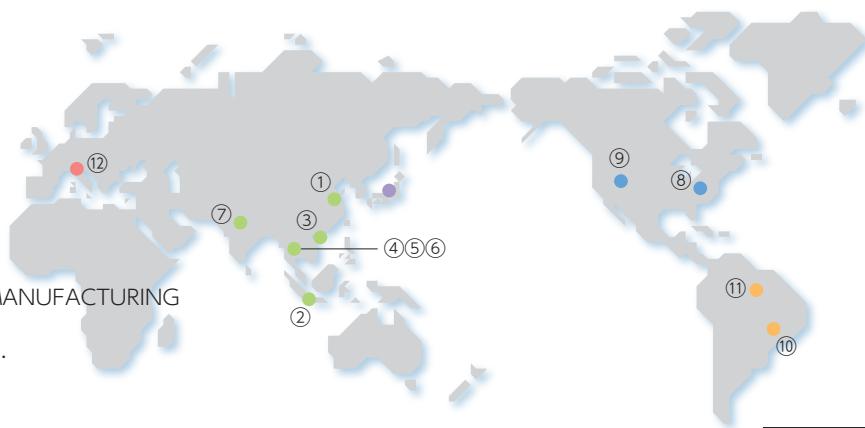
グローバルネットワーク (平成27年3月31日現在)

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条(常熟)有限公司
- インドネシア ② P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ③ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- タイ ④ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑤ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑥ INTERFACE グループ (3社)
- インド ⑦ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- アメリカ ⑧ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- アメリカ ⑨ RAD MANUFACTURING, INC.
- ブラジル ⑩ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑪ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑫ DID EUROPE S.R.L.



会社役員の内訳 (平成27年6月26日現在)

会社における地位	氏名
代表取締役社長	新家康三
代表取締役副社長	新家啓史
専務取締役	立田康行
常務取締役	菊知克幸
取締役	清水俊弘
取締役	澤保
取締役	棚橋健一
常勤監査役	福田治
監査役	笠松靖男
監査役	東森正則

- (注) 1. 取締役澤保氏、棚橋健一氏は社外取締役であります。
 2. 監査役笠松靖男氏、東森正則氏は社外監査役であります。
 3. 当社は、取締役澤保氏、取締役棚橋健一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。

株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株

発行済株式総数：47,171,006株（自己株式50,272株含む）

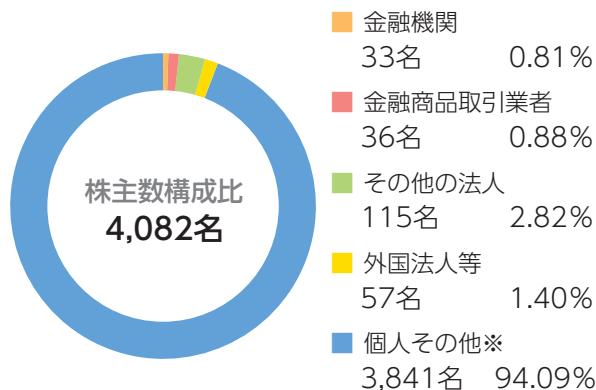
株主数：4,082名

大株主（上位10名）

株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社 飯田	2,308千株	4.90%
株式会社 北國銀行	2,281	4.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,398	2.97
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
加賀商工有限会社	1,308	2.78
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社 みずほ銀行	1,291	2.74
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
新家 萬里子	1,287	2.73
三井住友信託銀行株式会社	1,176	2.50

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

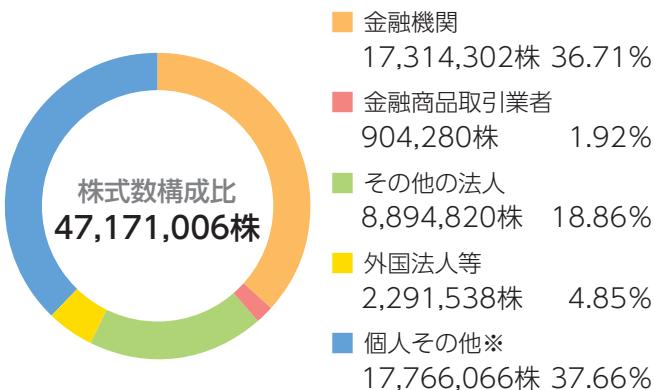
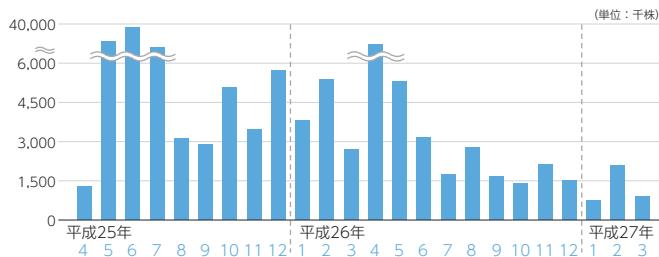
株式分布状況



株価（高値・安値）の推移



出来高の推移



※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

ブラジル子会社 DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA. の概要



▲DIA工場

会 社 設 立：2007年9月
 資 本 金：32百万リアル
 所 在 地：ブラジル連邦共和国アマゾニア州マナウス市
 敷 地 面 積：23,800㎡
 建 築 面 積：7,480㎡
 取得 認 証 規 格：ISO9001
 従 業 員 数：148名（2014年12月末）

DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA. (以下DIA) は、ブラジルはアマゾニア州マナウス市に工場を構えています。マナウス市はアマゾニア州の州都であり、人口200万人のブラジル北西部では最大の都市ですが、主要都市であるサンパウロ市やリオデジャネイロ市からは2,500km以上離れており、水路以外の交通手段が無く、陸の孤島といえます。かつては生ゴムの生産で繁栄を極めたこの地ですが、東南アジアでゴムの生産が始まると衰退してしまいました。

そこで、ブラジルの経済発展を奨励するため、様々な税制恩典が与えられた、マナウスフリートレードゾーンが1967年に設けられました。

それ以降多くの海外有名メーカーがこぞって工場を構え、今では2,000社にも上っています。

大同グループの主要取引先である二輪車メーカー各社もマナウス地区に工場を集中させていたため、DIAはこれらのお客様のご要望に応えるべく、サンパウロ州タウバテ市にある当社グループのDAIDO INDUSTRIA E COMERCIAL LTDA. (以下DIC) で行っていた二輪車用チェーンの生産を移管することを目的とし、マナウス市に2007年9月に設立されました。

DIAは操業開始以来順調に生産を伸ばし、現在マナウス市に居を構える全ての二輪車メーカーにドライブチェーン、カムチェーンの納入を行っています。

しかしながら近年はブラジル経済の低迷から各メーカーの二輪車の生産が伸び悩みを見せており、当社グループにおいては、この状況に対応するべく、DICで生産していた二輪車補修市場向けチェーンをDIAに生産集約を図り、生産コストを抑えるなど、2社の協力体制をもって、臨機に対応し収益の維持につとめております。

二輪車補修市場において安価な中国製品が市場を席卷する中にもあっても、高品質のDIDブランドは中南米全土に渡り、高い評価を得ており、信頼は揺るぎ無いものとなっております。今後もDIAはDICと更なる協力体制を築き、二輪車市場のシェア拡大につとめ、一層の発展を目指してまいります。



▲DIA取扱い商品

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
単元株式数	1,000株		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
(電話照会先)	☎ 0120-782-031		
(インターネットHP URL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html		
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html		
上場取引所	東京証券取引所市場第一部		
証券コード	6373		

お知らせ (株式事務のご案内)

■ 各種手続き・ご照会について

株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。住所、氏名の後変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求などのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は、口座を開設されている証券会社までご連絡下さい。

■ 特別口座について

株券電子化の実施までに証券保管振替制度をご利用されなかった株式につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された特別口座に記録されております。特別口座で管理されている株式についてのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は特別口座管理機関である三井住友信託銀行までご連絡下さい。なお、三井住友信託銀行の全国本支店でもお取次いたします。

■ 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場における取引単位を1単元(1,000株)とさせていただいておりますので、単元未満株式(1から999株)の株式は証券市場でのお取引ができません。当社単元未満株式の買い取りをご希望される株主様は、お取引のある証券会社(特別口座が開設されている株主様は、三井住友信託銀行)までお問い合わせ下さい。なお、買取請求に関する手数料は無料となっております。

■ 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.did-daido.co.jp/>



投資家の皆様に財務情報や最新トピックスをご提供しております。



より詳細な財務情報をご希望の方は、
当社ホームページ [投資家向け情報] をご覧下さい。

大同工業 投資家向け情報

検索

<http://www.did-daido.co.jp/jp/ir/index.html>

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6373

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com

